

伊豆の国市立長岡南小学校 学校だより



あやめだより

令和5年10月号

長岡南小学校 150年の歴史

校長 牧野 宏之

今年の夏は、校内にエアコンが整備されている有り難さを実感しました。

長岡南小学校では、平成の終わりから令和にかけて、様々な教育環境が整備されました。校内全室にエアコン、トイレの全面改修、各教室に電子黒板設置、一人一台のタブレット端末等々。また、このような物的支援だけでなく、英語教育充実のための ALT や長ニャンネットワーク等、様々な場面で人的支援も行われています。このような、近年の大きな変化は記憶に新しいのですが、歴史を振り返ってみれば、150年前の明治6年から、地域に支えられて今日まで発展してきました。

明治6年(1873年)6月9日、古奈村 西琳寺内に「官立嘉新小舎」が開校され、これが本校の誕生です。

明治36年に現在の場所に新校舎建築。児童数314、学級数6、職員数6でした。

大正9年に校訓決定、大正14年に講堂(後の図書館)完成。

昭和6年に校舎改築。この校舎は昭和47年に現在の校舎ができるまで使われました。50年も前のことですが、懐かしく感じられる方も多いと思います。



この写真は、プール横の「若宮」です。玄関裏の運動場側から西向きに撮影されたものです。

創立150周年に関して、特別なイベントなどはありませんが、10/11に全校で記念の航空写真の撮影を行います。

母校への誇りや愛情を感じて欲しいと願っています。